

2022年11月 教会行事予定表		
曜	午前	午後
1 火	OPC 10:00	
2 水	こっとな倶楽部 10:00	
3 木		
4 金	キリスト教講座(登別教会) 10:00	
5 土	ミサ 10:00 掃除(蘭岳)	
6 日	ミサ 9:30 典礼当番(白鳥) 11月運営委員会	
7 月		
8 火	OPC 10:00	
9 水	こっとな倶楽部 10:00	
10 木		キリスト教講座 18:00
11 金	キリスト教講座(登別教会) 10:00	
12 土	ミサ 10:00 掃除(蘭岳) キリスト教講座@11:00	
13 日	集会祭儀9:30 典礼当番(太平洋) 例会日	
14 月		
15 火	OPC 10:00	
16 水	こっとな倶楽部 10:00	
17 木		キリスト教講座 18:00
18 金	キリスト教講座(登別教会) 10:00	
19 土	ミサ 10:00 掃除(蘭岳)	
20 日	ミサ9:30 王であるキリスト(祭日)典礼当番(蘭岳) 待降節黙想会(義島師12時まで)	地区連絡会(苫小牧)
21 月		
22 火	OPC 10:00	
23 水	こっとな倶楽部 10:00	
24 木		キリスト教講座 18:00
25 金	キリスト教講座(登別教会) 10:00	
26 土	ミサ 10:00 キリスト教講座 @11:00	
27 日	集会祭儀 9:30 典礼当番(楽山) ミニ大掃除	
28 月		
29 火	OPC 10:00	
30 水	こっとな倶楽部 10:00	

2022-2023 典礼当番の地区表					
		10月	11月	12月	2023.1
1週	ミサ	楽山	白鳥	太平洋	蘭岳
2週	集会	白鳥	太平洋	蘭岳	楽山
3週	ミサ	太平洋	蘭岳	楽山	白鳥
4週	集会	蘭岳	楽山	白鳥	太平洋
5週	ミサ	白鳥			太平洋
	掃除	楽山	蘭岳	太平洋	白鳥

生きる教会  
コロナ禍を



**出来ました看板**  
9月26日の月曜日、いつもの年ならバザー準備に大奮闘な時間ですね。8時から工事が始まったそうです。8時40分に来た時には玄関看板を取り付けていました。10時30分には全て終了です。丁寧に手際良い仕事ぶりに、流石プロと感心しました。

2022  
10/9

# ひとつになるう

カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

カトリック東室蘭教会  
〒050-0073  
室蘭市宮の森町4-9-7  
☎0143-44-3851

日曜日の説教

2022年10月9日

C年  
年間第29主日  
ルカ17・11～19

わたしたちの中に、幸せな楽しい毎日を望まない人はいないでしょう。ところが、当たり前のこととはいえ、いつも思い通りに行かないのが、これまた日々の生活でもあります。それを当然のこととして受け入れ、逆に利用しようとする人がいるのも事実です。

**緊張感は決してマイナスばかりではない**

今年もまた、コロナ禍の影響で、一部の企業等の就職状況が、通常とは異なった日程で組まれてしまっていて、学生などに戸惑いと焦りを与えてしまっている事態が発生していると聞きます。仕事探しにおいては、ただでさえ緊張するのに、そこに焦りが加わってくると緊張度も倍加してしまいそうです。

しかし、この「緊張感」があるということは、わたし自身にとっては、決してマイナスなことではありません。というのは、人との交わりを持ちながら緊張感を感じ、それを体験する度合いに応じて、「わたし」の「人」としての成長があるのではないかと思うからです。緊張すると浮足立って、その人が、いつも感じていることにちょっとズレが生じ、それにより、通常の判断と行動ができなくなっている自分になってしまい、通常時の「自分らしさ」が失われていくのです。でも、それも実は「自分らしさ」なのです。緊張した時の言動も、当たり前のことながら、その人によって異なります。が、緊張している時の、その「人らしさ」と言えるのではないかと思うのです。「らしさ」も他者との交わりがあつての「自分らしさ」だと思っています。

**人はいつも周りの誰かに助けられている**

これまででも、何回も分かち合ってきた事ではありますが、「わたし」は自分の周りには誰かに支えられ、助けられて大きくなり、そして、日々を生き抜いています。いつも誰かがいるのです。その人は陰に陽に「わたし」に影響を与えてくれたのです。確実に言える「その人」とは、言うまでもなく両親です。でも、わたしたちが大きくなるにつれて、もっと幅広く「わたし」に関わってくれる人々が増えてきます。

嬉しいとき、楽しい時に語り合ってくれる仲間、逆に、いやな気分になるとき、落ち込んでいるときに相手になってくれる親友など、広範囲にわたります。それだけ必要になるということは、「わたし」が置かれている生きる現場での役割とそれに伴う変化、移動、仕事の重要さの如何にかかってくるといえます。

**重い皮膚病の人は当時、隔離されていた**

今日の福音書の話は、10人の重い皮膚病に罹った人の話です。わたしたちの身近にもたくさんの病気の方がいます。特に、今は、子どもが少なく、高齢者が多くなってきている社会が、ここ十数年続いています。「少子化問題」を叫びながら、そのための何の対策もなされていないような気がしてならないのは、わたしだけでしょうか。そして、自ずと「高齢化社会」が生まれていきます。しかも、独り住まいの高齢者の増大が、新たな社会問題となっています。問題解消のために、「老人施設」をつくるだけで良いものでしょうか、と言いたくなるような雰囲気を感じてしまうのです。「少子化・高齢化社会問題」を云々している視点に、どこか違和感を覚えてしまいます。

悪いことに、最近では目に見えて、お年寄りが「邪魔者」視されていませんか。社会の一員としての存在でなくなっているような、・・・わたしだけがそのような見方をしているのかもしれませんが、最近のテレビコマーシャルでも気になることがあります。それは「家族の者にお世話をかけるわけにはいかない。せめて葬式の費用くらいは準備しておかない」というような保険業界のコマーシャルです。今のご時世では、老夫婦が考え、思うことといえばこのようなことなのでしょう。もっと老後を愉快地に楽しく過ごせないものでしょうかと思ってしまう。でも、そうした心配をすること自体が楽しいのでしょうか、・・・?

**イエスは、疎外された人たちの叫びに...**

それにしても、人々のお世話を一番必要とする10人の重い皮膚病に罹った病人。イエスの時代の社会では、このような病気の人は本当に苦しんでいたと思います。否、苦しい状況に追い込まれていたといえるでしょう。彼らが住んでいる地区の共同生活から追放されて、その地区に入るときは鈴をつけて自分の存在を知らせなければいけません。さらには、人々からは白い目で見られ、冷たい視線を浴びせられていました。普通に生きることがゆるぎされない状況にあったのです。今のわたしたちも体験していないのでしょうか。他者から疎外され、無視されることのなんときついことか。いわゆる、強烈な「いじめ」です。

それこそ、「溺れる者は藁をもつかむ」心境にありながらも、それすらも受け入れてもらえない環境にあったのです。でも、その時が来たのです。イエスとの出会いです。イエスのうわさを漏れ聞いた彼らが、今度は「一日千秋の思い」でイエスとの出会いを待っていたのです。イエスが自分たちの住まいの地区近くにおいてになったと聞くや、声をかぎりに遠くからイエスに向かって叫ぶのです。「イエスさま、先生、どうか、わたしたちを憐れんでください」と。その声は、すべての人から見捨てられた人が、必死に誰かの助けの手を求める心からの叫びでした。どうしても人の助けを、支えを必要としている人、自分の力では自らを支えきれない人の力強い叫びでもありました。

考えるまでもなく、わたしたちは生まれたその瞬間から、温かく受け入れてくれる両親を必要としています。食べることを始め、生きるために多くのことにお

世話をいただけてきました。また、今でも他者の力をいただけています。それは恵みです。

わたしたちの人生は、この恵みの中で生まれ、これからもそれは続くのです。それを確かなものとするために、人とのつながりに感謝する心が大事です。そして、その「つながり」はさらに強固になり、安定します。

今日の福音では、いやされたことに気づき、感謝するためにイエスのもとに戻ってきた一人のサマリア人がいます。彼にイエスは言います。「あなたの信仰があなたを救った」と。それにより、彼はイエスの愛により深く、より確かにつながれたのでした。

わたしたちも恵みを感じたら直ちに行動に移しましょう。そのために体を動かしましょう。イエスのもとに戻って、あらためて「感謝する」ためです。

## 2022年度第6回運営委員会 議事録

2022年10月2日(日)10:45~12:30

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

### 3. 報告:

3.1, 10.11.12月の予定

- |           |   |
|-----------|---|
| 10月 2日(日) | 年間第二十七主日、ミサ(楽山地区典礼当番)、ミサ後10月の運営委員会                          |
| 10月 9日(日) | 年間第二十八主日、集会祭儀(白鳥地区典礼当番)、例会日                                 |
| 10月16日(日) | 年間第二十九主日、ミサ(太平洋地区典礼当番)                                      |
| 10月23日(日) | 年間第三十主日、集会祭儀(蘭岳地区典礼当番)、ミニ大掃除                                |
| 10月30日(日) | 年間第三十一主日、ミサ(白鳥地区典礼当番)、ブロック会議(登別)                            |
| 11月 6日(日) | 年間第三十二主日、ミサ(白鳥地区典礼当番)、ミサ後11月の運営委員会                          |
| 11月13日(日) | 年間第三十三主日、集会祭儀(太平洋地区典礼当番)、例会日、                               |
| 11月20日(日) | 王であるキリストの祭日、ミサ(蘭岳地区典礼当番)、地区連絡会(苫小牧)待降節の黙想会(指導: 養島神父様)、12時まで |
| 11月27日(日) | 待降節第一主日、集会祭儀(楽山地区典礼当番)、ミニ大掃除                                |
| 12月 3日(土) | ミサ、ミサ後12月の運営委員会   |
| 12月 4日(日) | 待降節第二主日、ミサ(太平洋地区典礼当番)                                       |
| 12月11日(日) | 待降節第三主日、集会祭儀(蘭岳地区典礼当番)、例会日、                                 |
| クリスマス飾りつけ |   |
| 12月18日(日) | 待降節第四主日、ミサ(楽山地区典礼当番)  |
| 12月24日(土) | 降誕祭夜半のミサ、ミサ後ミニパーティー   |
| 12月25日(日) | 降誕祭、ミサ(白鳥地区典礼当番)、ミサ後ミニパーティー                                 |
| 12月30日(金) | 聖家族の祝日、ミサ午前10時  |

毎週の行事(変更の場合あり)

- ・火曜日午前10時~ OPC(パソコン教室)
- ・水曜日午前10時~ こっとん倶楽部
- ・木曜日午後6時~ キリスト教講座 11/3祝日のため講座は休み
- ・土曜日午前10時~ ミサ(10/15ミサなし)、その後第二及び第四土曜日はキリスト教講座

3.2 教会の看板及び門柱について

9月26日(月)設置済み。当日は岩泉さん高科さんが立ち会っていただきました。設置状況を岩泉さんから報告がありました(ビデオ付き)。工事費は45万円。支払い済み。

3.3 秋の教会内外の清掃について

9月第三週(9/18)に実施したが、雨天のため外回りの清掃はできなかった。

10月に天候を考慮して、カラスの巣対策を行う必要がある。ルルド周りの木の枝の伐採などは、運営委員長の考えで別途検討することとした。

3.4 敬老の日への対応

例年通り、90歳以上の高齢者に記念品とお祝いのカードを贈った。9月18日のミサ後、ミサに出席の方には司祭から贈呈し、他は神父様と高科優様とでお届けした。

出席者: Sr, ポリナ天野和子様、Sr. ベルナディン桜井利子様、  
お届けした方: 青坂忠夫様、寺田玉井様、近信子様、松岡はま様

3.5 財務報告

別添資料参照。現状では、特に問題はない。

### 4. 議事:

4.1 ライヤ神父様誕生日(11/8)、霊名の記念日(12/3)のお祝いについて

12月4日ミサ後とし、パーティーの内容については、次回の運営委員会で相談する。

4.2 待降節の黙想会について

11月20日に養島神父様にお問い合わせし、決定。ミサ後、講話をお願いし、午前中で終了する。養島神父様の昼食は用意するが、この日苫小牧で地区連絡会があるので、12時半には終了。内容は講師の養島神父様にお任せする事とした。

4.3 降誕祭のミサ時間等

12月24日(土)は午後8時。12/25日(日)は、9時30分とし、ミニパーティーの詳細は、次回の運営委員会で検討する。

4.4 年末、年始の予定と聖家族の祝日について

12/30(金)は、午前10時、ミサ 1/1~3 午前10時 ミサ

4.5 教会内の土足解禁について

協和ハウスに確認したところ、聖堂の床は外靴対応にはなっていないが、聖堂までに汚れ等を十分に落とすなどの対策をすれば汚れは防げると思うが、聖堂の床は靴の種類(ハイヒールや滑り止め金具)等による損傷は防げないことから、もう少し様子を見ることとした。  
玄関での靴の脱着をし易いようにできないか検討してはとの意見もあった。

4.6 10月からのミサ、集会祭儀の典礼当番について(確認)4ページの表をご覧ください。

4.7 その他

\* シノドス関連: 山田淳さんから、10月1日の担当責任者連絡会で。「今後のシノドスのスケジュールについて、教区シノドスチームから次のような説明があった」との報告があった。

①札幌教区シノドス報告書と教区に提出したアンケートとりまとめ結果をもとに、各小教区で『大切なもの』を3つ見つけ出す。(分かち合いによって見つけ出すことが望ましい。必ずしも3つにこだわる必要は無いが、最大でも3つに絞るようにする。)

②見つけ出した『大切なもの』の実現するための、具体的かつ現実的な『実行方法』を考える。

③上記①と②を、2023年5月中に教区に報告する。

④2023年6~10月に、各地区宣司評やブロック等の単位で上記③の共有を図る。

⑤2023年11月に、教区宣司評にて上記④の共有を図る。

以上を受けて、当教会では

①と②の課題への取り組み方についてシノドス担当者が叩き台を作り、次回(または次々回)の運営委員会に諮るとの提案があり、運営委員会として了承した。

\* 七五三のお祝いへの対応: 小学生以下のお子さんに案内を出し、11月6日のミサ後、プレゼントと司祭からの祝福。(女性部担当)

\* カルメル修道院のクリスマス小箱クッキー(注文50個)希望者に販売する 400円

\* 生活困窮者の方々に、物資などを届けることが出来たとの報告があった。  
また相手方から大変喜ばれたとのこと。

\* 教会の廊下のスペースに永年保管してあった服、他のもの有効利用不可能のため、処分する事とした。

### 5. ライヤ神父の予定

10/15 西胆振幼稚園研修会(室蘭ガス文化センター)

11/20 伊達教会ミサ(養島神父様と交代)

### 6. ミサ・集会祭儀の予定

10/2 ライヤ師 10/9 集会 10/16 ライヤ師 10/23 集会 10/30 ライヤ師

11/6 ライヤ師 11/13 集会 11/20 養島師 11/27 集会